超音波ガイド下マンモトーム検査

超音波を用いて、マンモトームを用いて生検を行なう方法です。コアニードル生検では、複数回の穿刺が必要ですが、マンモトームの場合には1回の穿刺で、複数の組織を採取することが可能であり、検査時間も短縮されます。また、組織採取量も多いという利点があります。コアニードル生検に比べると装置がやや大掛かりであるという点がありますが、最近では装置も小さくなり使用される頻度が多くなってきています。